

# できていますか？

## 土砂災害

# 災害への備え

避難指示

やまない雨

大地震

共助

雨の季節になりました。「ジメジメしていて嫌だな」、「洗濯物が乾かなくて困る」などと感じている人も多いと思いますが、それよりも大事なことがあります。それは、『災害への備え』。

大雨や長雨による水害や土砂災害の危険性が高まるこの季節に、災害への備えができているか、あらためて考えてみましょう。

### まずは、災害時に役立つ知識を身につけましょう

災害時に優先して守るべきものは命です。私たちは、その命を守る行動をどのように身につければいいのでしょうか？

防災について日ごろから家族で話し合う、テレビやインターネットなどで情報を得る、マイタイムライン（本紙33・34ページ参照）を作成するなどの方法があります。なお、全世界にハザードマップを配布していますので、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などを確認しておいてください（ハザードマップは、町ホームページでもご覧になれます）。



また、高齢者など災害時に1人での速やかな避難が困難な人に対しては、自治会などの地域で情報共有し、災害時に協力しやすい体制を構築しておくこと（共助）も大切です。

### 早めの避難を心掛けましょう

大雨は、気象情報などで、ある程度予測ができます。天候が悪化する前に、早めの避難行動をとることを心掛けましょう。

しかし、突然の集中豪雨など、道路に水があふれ出す状況であれば、歩いて移動するのは危険です。特に夜間は視界が悪く、慣れた道でも思わぬ状況になることがあります。実際にそのような状況で避難所に向かい、人的被害が発生したケースがあります。状況に応じて、自宅の2階など高いところに避難（垂直避難）することを考えましょう。

また、山沿いでは土砂災害による被害を避けるため、山と反対側の2階の部屋や玄関付近のスペースに滞在するなど、命を守る行動をしてください。

### 避難所を事前に確認

災害の危険性が高まった時、早めの避難が自分の身を守ることにつながります。ハザードマップなどで、自宅や職場から一番近い避難所と、その避難所までの避難経路を確認しておきましょう。

特に、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などが避難経路と重なっている場合は、道路が通れないことも想定して、複数の避難経路を考えてお

くと安心です。いざという時に速やかに行動をとれるよう準備をしておきましょう。

### 非常時持ち出し品の準備は万全ですか？

災害の状況によっては、数日間避難が必要になることがあります。停電により、明かりが確保できなかったり、情報を得るためのテレビや携帯電話などが使用できないことも考えられます。

その際に必要になる、「非常時持ち出し品」と「非常時用備蓄品」を日ごろから準備・点検し、いざという時すぐに持ち出せるようにしておきましょう。次ページのチェック表をご利用ください。

### 「ましきメール」に登録を

町では、防災行政無線の他、ホームページやましきメール、SNSなどで避難情報を発信します。

特に、ましきメールには避難状況を把握するアンケート機能があり、大規模災害時に必要物資の供給などの支援につなげることができます。

また、ましきメールは、子どもの安全に関する防犯情報や気象情報なども発信しています。未登録の人は、この機会にぜひ登録してください。



↑  
ましきメールの登録は、こちらから空メールを送信。  
また、スマートフォンなどのアプリ版もあります。

